



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 川本産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 3604 URL <https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 水上 博司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室室長 (氏名) 吉田 康晃

TEL 06-6943-8951

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,927	0.6	8		27	89.9	28	221.0
2019年3月期第1四半期	5,891		1		14		8	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 9百万円 (42.2%) 2019年3月期第1四半期 16百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	4.98	
2019年3月期第1四半期	1.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	13,808	3,720	26.4
2019年3月期	13,087	3,734	28.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,651百万円 2019年3月期 3,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		4.00	4.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	5.2	90		120		80		13.80
通期	26,000	10.2	300	845.3	350	334.5	240	240.3	41.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,000,000 株	2019年3月期	6,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	204,366 株	2019年3月期	204,366 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	5,795,634 株	2019年3月期1Q	5,795,702 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用・所得環境の改善を背景とした緩やかな個人消費の回復、海外経済の成長を背景とした輸出の増加等の要因により、緩やかな回復基調が続きました。一方で、中東情勢不安による原油高などの影響を受けた原材料価格の高騰、米中を中心とした貿易摩擦の激化・長期化や、欧米の政策転換や通商問題に対する警戒感等、世界経済に対する懸念事項が多く、先行きへの不透明感も高まっております。

当社グループ（当社及び連結子会社）が属する医療用品・介護用品の業界におきましては、社会保障費の増大に対する改革の必要性を背景にコスト削減圧力が高まっており、価格競争が激化しております。また、医療の機能分化や地域包括ケアの推進など医療・介護のあり方も変革の最中にあり、事業環境変化への対応が求められています。育児用品の業界におきましては、2018年の国内出生数が過去最低を更新するなどマーケット縮小に直面しており、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況下で、当社グループは原価低減やコスト管理強化により筋肉質な収益体質の構築に取り組むとともに、単なる値下げ競争による売上拡大とは一線を画した付加価値・独自性に軸を置いた事業活動への転換を図っております。この結果、売上高は5,927,059千円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は8,312千円（前年同四半期は1,776千円の営業損失）、経常利益は27,877千円（前年同四半期比89.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28,872千円（同221.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（医療用品等製造事業）

感染予防関連製品、口腔ケア製品、手術関連製品その他高付加価値品を中心に販売拡充に努めました。値下げ競争による売上拡大からの脱却を図った影響、重点顧客への販売が堅調に推移した結果、売上高は1,951,878千円（前年同四半期比2.1%増）、経常利益は63,417千円（前年同四半期は74,553千円の経常損失）となりました。

（医療・育児用品等卸売事業）

医療用品・介護用品・ベビー用品等を、医療機関・大手量販店・ドラッグストアや通信販売事業者など幅広い顧客に対し積極的に販売いたしました。重点顧客への販売は比較的好調に推移しましたが、販売商品の構成が前年と異なったこと及び物流費の上昇等の理由により、売上高は3,975,181千円（前年同四半期比0.1%減）、経常利益は72,717千円（同59.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,808,569千円、自己資本は3,651,632千円で、自己資本比率は26.4%（前連結会計年度末は28.0%）となりました。

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,808,569千円となり、前連結会計年度末に対して721,398千円増加いたしました。

流動資産は10,883,374千円で、前連結会計年度末に対して753,118千円増加いたしました。「受取手形及び売掛金」に「電子記録債権」を加えた売上債権が592,869千円増加、棚卸資産のうち「商品及び製品」が188,580千円増加したことが主な要因です。

固定資産は2,925,195千円で、前連結会計年度末に対して31,720千円減少いたしました。投資その他の資産の「その他」のうち繰延税金資産が21,318千円増加、投資有価証券が59,143千円減少したことが主な要因です。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は10,087,892千円となり、前連結会計年度末に対して735,142千円増加いたしました。

流動負債は6,774,536千円で、前連結会計年度末に対して920,303千円増加いたしました。「支払手形及び買掛金」が184,000千円減少、「短期借入金」が200,000千円減少した一方で、「関係会社短期借入金」が1,400,000千

円増加したことが主な要因です。

固定負債は3,313,356千円で、前連結会計年度末に対して185,160千円減少いたしました。「長期借入金」が173,400千円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は3,720,677千円となり、前連結会計年度末に対して13,744千円減少いたしました。その他の包括利益累計額のうち「その他有価証券評価差額金」が42,522千円減少、「為替換算調整勘定」が18,096千円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2019年5月9日公表の業績予想に変更はありません。今後、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込については見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,649	806,315
受取手形及び売掛金	3,940,536	3,653,515
電子記録債権	2,869,750	3,749,640
商品及び製品	1,450,675	1,639,256
仕掛品	294,937	303,471
原材料及び貯蔵品	120,382	130,612
その他	686,369	612,403
貸倒引当金	△11,044	△11,840
流動資産合計	10,130,256	10,883,374
固定資産		
有形固定資産	1,330,603	1,322,929
無形固定資産		
のれん	237,300	238,013
その他	251,539	261,231
無形固定資産合計	488,840	499,244
投資その他の資産		
その他	1,198,460	1,165,565
貸倒引当金	△60,989	△62,544
投資その他の資産合計	1,137,471	1,103,020
固定資産合計	2,956,915	2,925,195
資産合計	13,087,171	13,808,569

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,223,356	3,039,356
短期借入金	500,000	300,000
関係会社短期借入金	600,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	684,800	590,800
未払法人税等	40,696	14,239
賞与引当金	112,798	45,468
売上割戻引当金	179,159	159,331
災害損失引当金	51,516	50,323
その他	461,906	575,017
流動負債合計	5,854,233	6,774,536
固定負債		
長期借入金	2,757,430	2,584,030
退職給付に係る負債	619,905	613,038
資産除去債務	28,705	28,760
その他	92,475	87,526
固定負債合計	3,498,516	3,313,356
負債合計	9,352,749	10,087,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	1,351,529	1,357,219
自己株式	△74,302	△74,302
株主資本合計	3,352,824	3,358,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	360,754	318,232
為替換算調整勘定	△38,225	△20,129
退職給付に係る調整累計額	△8,538	△4,984
その他の包括利益累計額合計	313,990	293,117
非支配株主持分	67,606	69,044
純資産合計	3,734,421	3,720,677
負債純資産合計	13,087,171	13,808,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,891,822	5,927,059
売上原価	4,977,076	4,974,882
売上総利益	914,746	952,177
販売費及び一般管理費	916,522	943,864
営業利益又は営業損失(△)	△1,776	8,312
営業外収益		
受取利息	147	184
受取配当金	8,632	9,231
仕入割引	16,425	18,192
その他	1,901	2,388
営業外収益合計	27,106	29,996
営業外費用		
支払利息	6,124	4,400
為替差損	925	3,464
売上割引	2,806	2,561
その他	795	5
営業外費用合計	10,652	10,432
経常利益	14,678	27,877
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
投資有価証券評価損	21	—
特別損失合計	21	0
税金等調整前四半期純利益	14,656	27,877
法人税、住民税及び事業税	13,036	8,894
法人税等調整額	△4,480	△9,819
法人税等合計	8,555	△925
四半期純利益	6,101	28,802
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,892	△69
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,993	28,872

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	6,101	28,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,236	△42,522
為替換算調整勘定	△24,651	19,604
退職給付に係る調整額	4,631	3,554
その他の包括利益合計	10,216	△19,364
四半期包括利益	16,317	9,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,085	7,999
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,767	1,438

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	医療用品等 製造事業	医療・育児用品等 卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,911,385	3,980,437	5,891,822	—	5,891,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,911,385	3,980,437	5,891,822	—	5,891,822
セグメント利益又は損失(△)	△74,553	177,937	103,384	△88,706	14,678

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△88,706千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	医療用品等 製造事業	医療・育児用品等 卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,951,878	3,975,181	5,927,059	—	5,927,059
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,951,878	3,975,181	5,927,059	—	5,927,059
セグメント利益	63,417	72,717	136,134	△108,257	27,877

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,257千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。